

きよさと 組合だより



No.353



ビート植付 (第5営農集団 吉田氏)

第71回通常総会開催	2
農作業フォトギャラリー	3
清里町農民連盟第48回定期総会開催	4
各組織等総会報告	6
・わさび生産組合	6
・スイートコーン生産組合総会	6
・果樹生産振興会総会	6
・大豆生産組合総会	6
・清里町農地・水保全広域協定運営委員会	6
・和牛生産改良組合総会	7
・ごぼう生産組合総会	7
・酪農3組織総会	7
・明日の清里酪農を考える会	8
・大豆栽培講習会	8
・ニューホランドGPS講習会	8
・3JA種子小麦講習会	8
・北海道信用事業優績表彰	9
・札幌・緑資材セール	9
・第1回秋まき小麦青空教室	9
・清里町のうきよう年金友の温泉保養親睦会	10
・平成30年度新規就農者激励状贈呈式	11
・世代交代報奨慰労会	11
・きよさと農業塾研修会	12
・第8期JA清里農業塾入校式	12
・ホクレン中斜里区域内でん菜振興協議会	13
・海外視察研修	15
・理事会の経過をお知らせ致します	15
・ご結婚おめでとう	16
・人事異動について	16
・人事異動発令	16
・組合員状況	16
・新規採用職員をご紹介します	16
・退職にあたって	17



第71回
通常総会
開催

令和元年豊穰の出来秋を願う



石井組合長挨拶

4月9日、第71回総会が午前9時に村上参事の開会宣言により開会、出席者全員がJJA綱領朗唱にて開催されました。

石井組合長は冒頭「平成30年は、自然災害や天候不順のとても多く感じる1年だったかと思う。3月には季節外れの暴風雨で融雪が一気に進み、農地崩壊、流失、ハウスの冠水等が発生し、小麦畑は長期の停水、凍結被害等で収量に大きな影響をもたらした。更に、胆振東部地震の発生により、全道規模の停電が発生、当地域も2日間に渡る停電となり、生乳廃棄や原料馬鈴しょの腐敗等といった影響を受けた。つき付け時期は順調

な生育であったが、6月から7月にかけては低温多雨の天候状況で推移、湿害の発生圃場を散見され、8月の小麦の収穫時においては雨の合間を縫っての刈り取りとなった。一方、9月以降は平年より暖かい秋を迎え、馬鈴しょ、てん菜、豆類においても生育状況は順調に回復、クミカン収支の底上げに繋がった。

災害等には、清里町には臨時予算を組んで復旧費用補助を行っていただいた。ホクレン独自でも緊急の支援をいただいた。今後、災害も想定しながら、被害を最小限にとどめるための対策強化を進めていきたい。

大規模化する農業経営の中、人手不足や作業効率化が求められており、一つの対策としてICTの活用は、大変重要な位置づけと考え、自動操舵システムや可変施肥システムを中心に導入を進めたい。本年度、TPP11や日欧EPA協定も既に発効されており、今年4月より2年目の関税削減率が適用され、肉類や乳製品を中心に輸入量が増えてきている。日米TAG協



議長団

議も控え、国は現協定以上の譲歩はしないと発言しているが、米国の圧力に屈せず毅然とした対応で望んでいただきたい。これ以上、日本の第一次産業を犠牲にする結果とならない様、願うところである。

信用事業の事業譲渡や代理店化



辺見青年部長挨拶

については、全道の各単協を始め、当JAとしても信用事業維持を基本と考え、総合事業継続を行うことで進んでいる。

本年度は、第9期総合5カ年計画の最終年であり、次期の第10期計画の構築に向けた取り組みを進めている。大豆振興では、刈り取りや乾燥工程での一層の効率化の運営を進める事、種子馬鈴薯についても清泉産をベースに町外産の安定した確保と品質向上に向けた取り組みが重要と考えている。資材店舗新築に関しては、今年度新店舗建設を行い、一層のサービス向上に向けた取り組みと、町民の皆様にも利用していただける店舗を目指した事業展開としたい。これを機に事務所内のレイアウトも進めていく。農業情勢の変化、懇談会での意見やアンケート等を鑑みながら、次期計画樹立へと取り

組んで参りたい。

本年は、平成から令和へと改元される。元年となる今年が災害、事故なども無く、豊穰の出来秋が迎えられるます事と、組合員並びに御家族皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。」と挨拶しました。

引き続き榎引町長、田中町議会議長、JA北海道信連北見支所伊藤支所長よりご挨拶を頂き議事に入りました。

議長団は、第1営農集団岩井清郎氏、第6営農集団橋本秀一氏の



綱領朗唱



2集団二俣氏

両氏が選任され、議案審議に入りました。

議長団のスムーズな進行により全議案が可決され、岩井氏の退任挨拶の後、辺見青年部長による「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議（案）」が提案され、満場一致で採択されました。

その後、三上専務の閉会の挨拶で12時10分に無事終了しました。

質問・意見は次のとおりです

(内容は要約しています)

◎TPP11・日欧EPA発効による日本の市場開放を、石井組合長の考えと、JAとして何かアクションがあるのか教えてほしい。

～農作業フォトギャラリー～



5集団 山本氏 馬鈴しょ植付



9集団 嶋田氏 玉ねぎ植付

第48回清里町農民連盟定期総会

農連



二俣委員長挨拶

清里町農民連盟

第48回定期総会 開催

4月11日(木)、第48回清里町農民連盟定期総会が、定刻の午後1時30分より、清里町農協2階会議室において開催されました。

代議員総数50名中、出席者45名(委任状3名)が出席し、田中英樹税対策専門委員長の開会宣言によって総会は始まりました。

二俣清史委員長は開会にあたり、「本年は農業に影響を及ぼす国際貿易が本格的に始まりました。TPP11では、安く大量の農畜産物の輸入品が入ってきているので、大衆向けの交雑種の肉に影響が出ている。EUとのEPAでの影響はまだ出ていないと言われているが、量販店で協定発効記念セールとして、ワインやチーズなどの安売りが始まっていて、今後、乳製品、パスタなどの小麦製品、チョコレートなどの輸入動向の影響が気になるところです。日米貿易交渉では対日貿易赤字の縮減に取り組む姿勢が強く打ち出されていて、22分野に及ぶ包括的な方針を提示し、TPP以上の市場開放を求めてくるのは間違いないとしています。このように日本は、輸入を増

やし、国民の食を他国に委ねようとしています。世界中で異常気象や自然災害、人口の増加で食糧不足が懸念されます。また、添加物、農薬漬けの農畜産物が輸入されています。国内で、安心・安全な食料を、国民に安定供給出来るよう、食の安全保障を進めなければならぬと思います。また、昨年は長雨、低温、そして地震の被害、それに伴っての、停電での影響で搾乳出荷が出来なくなる事態になりました。自然災害からの復旧、復興支援対策や対応が強く求められています。また、農産物を運搬するトラック運転手不足の輸送や流通対策、畑作物病害虫などの発生による、蔓延防止対策、町内における鳥獣被害や防風保安林様々な問題がありますが、これからも盟友の皆様、そして関係機関と共に協力をし、解決に近づけるよう運動を進めていきたいと思えます。」と挨拶しました。

議長には、7集団の鈴木良則氏が選任され、議事録署名委員に、1集団の中平哲也氏と4集団の岡本和朗氏が、書記には清里町農協

■お知らせ■

◎組合員の皆様におかれましては、農作業等に追われ気持ちが焦ると、労務災害の件数が多くなります。安全確認・安全作業で、くれぐれも労災事故に会わないようご注意ください。

万一、農作業において、労災事故でケガをされた方は、ケガの大小にかかわらず、速やかに（出来るだけその当日）病院で治療を受けてください。その後、農民連盟事務所まで来て頂き、事故状況等の聞き取りをした後、書類を作成し手続きをします。

◎労災保険に関して、事業主および、その家族の方で、就職・卒業・結婚・Uターン・死亡等の理由により、保険に新たに加入・脱退の変更が必要な場合は、できるだけ速やかに連盟事務所までご連絡下さい。手続きが遅れますと、労災の適用を受けることができません。

◎土地等（畑・宅地・山林・砂利等）の移動（売買・収用・譲渡）があった場合は、連盟事務所までお知らせいただきたいと思います。特に生前一括贈与で納税猶予を受けられている農地についてはご注意ください。

◎ご相談、ご意見、ご希望、ご不満、不明な点などがありましたら、各集団内の執行委員に相談して頂ければ幸いです。

事務局

経営課の戸出主幹が任命されました。

来賓祝辞として、櫛引政明清里町長、清里町農協石井透組合長、北見地区農民連盟佐藤正光委員長よりいただきました。また、清里町議会村島健二副議長、清里町農業委員会森本宏会長、斜里町農民同盟谷本和哉委員長、北見地区農民連盟青年部金森裕輔副委員長、ホクレン斜里原料所中山伸哉所長、清里町農協女性部前中房枝

部長、清里町農協青年部辺見裕介部長、北見地区農民連盟中崎翔太書記と多数のご出席をいただきました。武部新議員、徳永エリ議員、小清水町農政協議会からのメッセージを事務局より紹介しました。続いて、定期総会スローガンを吉田義博組織対策副委員長により確認の後、議事に入りました。第1号議案『平成30年度活動経過報告について』、各専門委員長及び局長より提案し、拍手により

承認されました。続いて、第2号議案『平成30年度会計収支決算の報告について』坂野和弘書記長より説明、引き続き成戸巧監事より『決算監査報告』があり、それぞれ拍手により承認されました。第3号議案『平成31年度運動方針（案）について』各専門委員長及び局長より提案し、拍手により承認されました。第4号議案『平成31年度収支予算（案）』及び、『賦課金徴収（案）について』、拍手

により承認されました。その後「日米貿易協定交渉等に断固反対する特別決議（案）」を橋副委員長より提案され、拍手により承認されました。鈴木議長の退任の挨拶ののち、閉会に当たり、園木副委員長より挨拶があり、午後3時40分、佐々木一則税対策専門副委員長の閉会宣言をもって終了しました。

★わさび生産組合

第2回わさび生産組合役員会において、議案第1号『平成30年度事業報告及び収支決算報告並びに会計監査報告について』議案第2号『平成31年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』議案第3号『役員改選について』協議されました。併せて、斜網地区農協わさび耕作組合協議会定期総会の報告もなされました。議案に対する質疑等特になく閉会しました。

◆平成31年度役員

組合長 山崎 一幸 副組合長 坂野 和弘

★スイートコーン生産組合総会

3月28日、スイートコーン生産組合第31回定期総会が開催されました。

坂野組合長の挨拶の後、議案審議に入り、議案第1号『平成30年度経過報告並びに収支決算報告について』・会計監査報告』議案第2号『平成31年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について』議案第3号『役員改選について』提案されました。質疑は、議案第1号にて、適期作業に向けた要望が挙げられ、議案第2号では、青果物作付説明会の結果について質問されました。

◆平成31年度役員

組合長 柳谷 克彦 副組合長 我妻 健一

★果樹生産振興会総会

4月8日、第30回果樹生産振興会総会が開催されました。佐藤会長の挨拶の後、野崎副会長を議長に、議案第1号『平成30年度事業報告並びに収支決算報告および監査報告』議案第2号『平成31年度事業計画並びに収支予算案』議案第3号『役員改選について』議案審議がなされました。特に質疑等なく、総会は終了しました。

◆平成31年度役員

組合長 佐藤 昇 副組合長 野崎 武志

★大豆生産組合総会

4月5日、第3回大豆生産組合総会がJA清里町2階会議室にて開催されました。

渥美組合長挨拶の後、長嶋氏が議長に選出、議案第1号『規約改正について』議案第2号『平成30年度事業計画並びに収支決算について』議案第3号『令和元年度事業計画並びに収支予算案について』議案第4号『令和元年度役員改選について』提案されました。質疑では、議案第2号の詳細説明、議案第3号の予算案について述べられました。その他、新品種についての説明や日報作成に関する注意喚起がなされ、総会は終了しました。

◆平成31年度役員

組合長 渥美 誠
副組合長 吉田 勝典

★清里町農地・水保全広域協定運営委員会

4月11日、第4回清里町農地・水保全広域協定運営委員会定期総会がJA清里町2階会議室にて開催されました。

議案第1号『平成30年度事業実績及び収支決算報告に並びに監査報告について』議案第2号『平成31年度事業計画及び収支予算について』議案第3号『平成31年度運営委員会日当、作業等借上げ料金表について』議案第4号『清里地区地域資源保全管理構想(案)について』議案第5号『清里町農地・水保全広域協定運営委員会参加同意書の承認について』他、事務局より提案されました。議案第6号『その他』においては、交付単価の考え方、提案事項の周知について説明されました。

特に質疑等無く全ての議案が可決され、総会は終了しました。

◆平成31年度役員

組合長 三上 博由
副組合長 森田 健一

★和牛生産改良組合総会

4月11日、第7回和牛生産改良組合定期総会がJA清里町2階会議室にて開催されました。

澤田組合長が議長を務め、議案第1号『平成30年度事業報告並びに収支決算書について』議案第2号『平成31年度事業計画案ならびに収支予算案について』議案第3号『平成31年度会費（改良組合・黒毛特別会計）並びに徴収方法について』議案第4号『役員改選について』の審議が行なわれました。議案第5号『その他』においては発電機購入に際しての注意事項や共進会に関する報告がなされました。全ての議案が拍手により承認され、総会は終了しました。

◆平成31年度役員

組合長 澤田 篤史
副組合長 橋本 秀一

★JAまほろ生産組合総会

3月20日、第30回清里町まほろ生産組合定期総会が、JA清里町2階会議室にて開催されました。

塚田副組合長が議長となり、議案審議に入りました。議案第1号『平成30年度事業報告及び収支決算報告について』議案第2号『平成31年度事業計画案並びに収支予算案について』議案第3号『役員改選について』が提案されました。質疑では、議案第1号において30年産の高値推移理由について質問されました。その他、質疑意見なく、総会は終了しました。

◆平成31年度役員

組合長 田邊 朋之
副組合長 塚田 勉

★酪農3組合総会

4月25日、酪農組合、乳牛検定組合、酪農ヘルパー利用組合の合同総会がJA清里町2階会議室において開催されました。

乳牛検定組合組合長である佐藤繁雄氏の開会宣言により開会。その後、岡崎酪農組合長を議長に、議案審議に入りました。

●酪農組合

案第1号『平成30年度事業報告並びに収支決算の承認について』議案第2号『平成31年度事業計画案並びに収支予算案の承認について』議案第3号『平成31年度賦課金の賦課並びに徴収について』議案第4号『役員改選について』提案されました。特に質疑なく全ての議題が承認され、総会は終了しました。

●乳牛検定組合

議案第1号『平成30年度事業報告、収支決算書並びに貸借対照表借受勘定及び監事の意見書について』議案第2号『平成31年度事業計画書（案）並びに収支予算書（案）について』議案第3号『平成31年度組合員負担金の負担基準及び徴収方法について』が提案され、全ての議案が承認されました。

●酪農ヘルパー利用組合

案第1号『平成30年度事業報告書並びに収支決算書及び会計監査報告について』議案第2号『平成31年度事業計画書（案）並びに収支予算書（案）について』議案第3号『年会費の徴収について』議案第4号『特別賦課金徴収について』提案されました。質疑なく承認され、総会は終了しました。

◆平成31年度役員

酪農組合 組合長 佐藤 繁雄
乳牛検定組合 組合長 岡崎 英之
酪農ヘルパー利用組合 組合長 前中 康男



明日の
清里酪農を
考える



酪農家の一層の
発展に向けて

3月7日、JA2階会議室にて第2回明日の清里酪農を考える会が開催、町内の酪農家の他、普及センター、役場が参加しました。岡崎酪農組合長シエネティクス北海道十勝北見事業所の吉田次長を講師にお招きし、現在の酪農情勢や支援システム等の説明がなされました。また、講話の後には参加者同士の意見交換が前中組合長を座長に行われ、生乳生産や労働力の確保、粗飼料、酪農組合の話題が発言され、各々が見聞を広げる機会となりました。

3月19日、JA2階会議室にて大豆栽培講習会が開催されました。講師に普及センターの笹原氏をお招きし、平成30年度の作況の振り返りを始め、栽培の省力化、雑草対策等を実例を交えながらご説明いただきました。今年度より作付けを始められる組合員もおり、播種・培土といった栽培における基礎技術も丁寧に説明され、有意義な講習会となりました。

3月22日、(株)ニューホランドによるGPS講習会が、JA2階会議室で開催されました。講習会には生産者約20名が参加、作業機械登録・情報入力といった基本の操作方法や現場状況別の対応等について、製品紹介とあわせて説明されました。講習の中では、作業機の実寸幅計算や微調整の方法について質問がなされ、機械別のアドバイスがなされました。その後は機械センターに場所を移し、用意したトラクターで実際の挙動を確認、実践的な講習となりました。



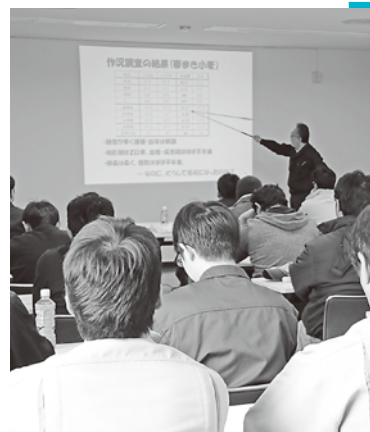
大豆栽培講習会
新規作付と
普及に向けて



ニューホランドGPS講習会
春耕期を前に
操作の再確認

3月29日、JA清里町2階会議室にて3JA種子小麦講習会を、改良普及センター田原専門主任を講師にお招きして開催しました。今回の講習では、作況調査報告、生産基準、春まき小麦・秋まき小麦、雑草・病害対策等の説明がありました。

昨年度は5月から8月にかけて平年より雨が多く赤かび病多発の要因となったことや、ここ3カ年の播種が遅かったことによる収量低下の傾向について説明されました。今年度は圃場が乾き次第早期の播種実施が呼びかけられた他、播種深度についても分けつ不良・発芽不良・生育不良防止のため適正深度での播種が呼びかけられました。その他、肥料や薬剤散布についての説明がなされ、質疑等は特に無く、講習会は終了しました。



3JA種子小麦講習会
安定・良質な生産

今後も利用者に
合わせた事業の展開を

4月11日、JA北海道信連が実施している「北海道信用事業優績JA表彰選定基準」に基づき全道のJAが取り組みを行ない、重点推進項目のメイン化・貯金・年金・ローンの4部門で総合的に優秀な成果を取めたとして、JA北海道信連林本部長が来所され、石井組合長に「総合表彰JA」の表彰状が授与されました。

今回の受賞は組合員・地域住民の皆様のご理解・ご愛顧によるものと、心より感謝申し上げます。今後信用事業発展向上に向け、様々な金融商品のご提案やサービスをを通じて、組合員や地域の皆様のお暮らしのお手伝いができるよう努めて参ります。



札弦・緑
資材セール

野菜づくりの準備

4月24日に札弦資材セール、25日に緑資材セールが実施されました。自転車や車、台車を押しってくる人等、今年も多くの人にお集まりいただきました。

セールに来られた人は、「毎年買いに来ています。「車が無いから、いつも助かるよ。」と言って、商品をたくさん購入されていきました。現場の職員に肥料や病害に効く薬剤の相談をされている姿も見受けられ、今年も札弦・緑地区の方々に活用していただけたようです。



第1回秋まき小麦青空教室

117戸が出席

4月15日、17日、26日に第1回秋まき小麦青空教室が各集団代表圃場で開催されました。

普及センター職員より、春期の秋まき小麦管理について説明されました。今年は茎数が多く、追肥量は圃場の茎数を把握したうえで決定し、実施時期についても模索しながら進めてほしいとの説明がされました。その他、薬剤散布に係る留意点、鎮圧作業の時期、発生しやすい病害についての説明もなされました。質疑には、野良生えの春小麦について、細麦の懸念、鎮圧回数、病害虫について、防除時期等の質問が発言されました。





恒例の小旅行、 笑顔溢れる 楽しいひととき



歌謡ショー

3月26日から28日にかけて、うきよう年金友の会(石川頼明会長)は阿寒湖温泉「ニュー阿寒ホテル」において、会の最大イベントである温泉保養親睦会を実施しました。129名の会員が参加し、バスの中では「久しぶり。」「今回も楽しみだね。」と会話が弾んでおりました。

ホテル到着後は各々ゆつくりと温泉に入ったり、仲間との談話をしたり、日頃の疲れを癒しました。初日の宴会では、ビンゴ大会や歌手の栗原ちあき氏による歌謡ショーが開催され、大いに盛り上がりました。

2日目には、カラオケ・ダンス、映画鑑賞、麻雀、ゲートカーリング、レクリエーションの会場を用意し、楽しんでいただきました。夜の宴会では、恒例のカラオケ発表が行われ、16名の参加者に自慢の歌声を披露していただきました。



自慢の歌声を披露



石川会長挨拶



レクリエーションで身体を動かす



今年も多くの会員さんにご参加いただきました



ビンゴになった??

平成30年度新規就農者激励状贈呈式

新しい力に期待を込めて、決意新たに

4月4日、新規就農者に対し、JAGグループ北海道の系統4連と全国共済連北海道本部より激励状が授与されました。

石井組合長より「不安なことも有るかと思うが、親の背中を見て、子どもの頃から仕事の流れや季節ごとの流れを見てきて理解しているものと思う。新規就農を大変頼

もしく、また、嬉しく思っている。清里では農家戸数が減少しているが、新しい力で清里町農業を盛り上げて欲しい。自分の農業像を描きながら、進んでいってほしい。」と激励の言葉がありました。新規就農者である澤田琢磨さんの答辞では激励状、記念樹贈呈に対する感謝の言葉と、「今後とも知識と技術を研鑽していきます。農協や関係機関には、今後指導をお願い致します。」との抱負が述べられました。

★新規就農者紹介

- ①抱負 ②趣味・特技

第1営農集団
(澤田政利さん長男)

さわだ たくま
澤田 琢磨さん



①父の仕事を見ながら技術を学ぼうとしています。知識不足と思うようにしております。今後、農業塾といった勉強の場を大切にしていきたいです。
②音楽鑑賞（現在はMrs. GREENAPPLEに夢中）・夢中になったものに没頭すること

世代交替報奨慰労会

新しい世代へのバトンタッチ

3月18、19日の日程で平成31年度の世代交替報奨慰労会がウトロ「知床第一ホテル」にて開催されました。

今年の対象者は12戸22名で、内5戸8名の皆様にご参加いただきました。世代交代された皆様には、長年の苦労を労い、JAからの記念品が石井組合長より贈られました。

慰労会においては、開催と記念品の贈呈に対し、招待者を代表して、湯浅実樹男氏より御礼の言葉と乾杯の発声をいただきました。

宴は終始和やかな雰囲気が進み、終わりには桑名信吉氏より、農家を頑張ってきたのも、奥様のおかげであるとの挨拶にて会は終了しました。経営移譲された皆さんの今後益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り致します。



今一度、JAへの理解深める



JAの職員とじっくり話す機会となりました

3月26日、きよさと農業塾7期生研修会が、村上参事を講師にお招きして開催されました。農業塾7期生5名が参加し、JAの事業展開や相互扶助の意識について、また、JA清里町の現在の組織概要等が説明されました。塾生はじっくりと耳を傾け、JAの理念や存在意義に対する理解を深めていただきました。参事より「心配りができることが大切である。自分の評価は自分でするのではなく、他人が評価をするものだ。夢を持っているのなら、現実の目標に変えて取り進めていってほしい。」と激励と期待の言葉が贈られ、学習会は終了しました。



農業の基礎を学び、今後の活躍に期待

4月16日、農業塾入校式が第8期生2名の参加のもと行われました。

三上専務からは、「例年に比べて入校人数は少ないが、これから益々頑張っていたきたい。農業は土木業、化学、科学、経営学と何でも詰まっている。その中で長年をかけて学び、自分の感覚の中に見えるものを大切にしてほし

い。」と激励の挨拶がありました。来賓の網走農業改良普及センター 清里支所 榮田支所長からも「まず、基本的な知識を学んで行くこととなるが、段々奥深く自分の知識に積み重なっていくと思う。近隣の農家さんを見て学び、学ぶ中で疑問を見つけ、解決しようとする気持ちを大事にしてほしい。」と挨拶されました。



◆第8期生

- 第1営農集団 澤田 琢磨さん
- 第3営農集団 伊藤 隆広さん

ホクレン中斜里区域内てん菜振興協議会 海外視察研修

平成30年7月4日～7月11日 ドイツ・ポーランド・イギリス

参加者 工藤一仁理事・樫村綾一青年部長・橋本久志（燃料自動車課）

ホクレン中斜里区域内てん菜振興協議会の主催による海外視察研修へ参加致しましたので報告いたします。

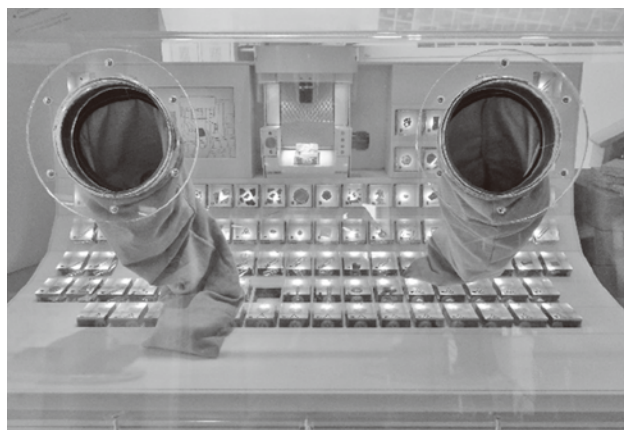
◎BASF ビート畑実験圃場

ウエンデル農場長とスタッフ2名により運営。今年のビート作付面積は57ha。圃場はライン川流域にあり、複数の土質が存在し、干ばつ対策のため圃場ごとに耕起方法を変更している。プラウでの耕起後は1〜3回コンビネーションハローにて整地、播種は直播畦間45cm、株間22.6cmで、発芽率は90%程度確保。今年は4月4日〜12日に播種、早い年では3月下旬除草剤は今年3回（4月24日、5月3日、5月22日）で、褐斑病防除は目視により実施。7月の発病率は5%、8月中旬は発病率15%になった場合防除する。個人での圃場観察の他、地域ビート組合からの情報を活用しながら実施する。近年原因不明で発生が増加、防除回数が増えている。その他病害虫の防除は行っていない様だ。昨年の収量は1haあたり75t〜80t、糖分は16〜17%で製糖工場の都合により9月〜11月に作業委託により収穫。農繁期は季節労働者を雇い作業をしている。その他の耕作面積は小麦290ha、ライ麦35ha、デントコーン55ha、菜種40haでビートを含め約480ha現場事務所半径40キロ圏内に圃場が点在している。BASF社が農場経営をする目的は農業技術の実証と将来BASFの工場を拡張した時の用地確保の為との事でした。

◎BASF本社

ビクターセンターにて会社概要説明後、工場敷地内をバスで視察。BASF社は科学製品（原油からプラスチック、ゴム、ポリカーボネート、建築材、各化学薬品を製造する）、原料生産の他に電気自動車用バッテリーの開発等も行う。発砲スチロールの製造で経営が伸びてきたが、近年は建築材（断熱材）健康商品（吸湿材）、スポーツ用品（スキー板、靴底等）など幅広い原料販売を行う。工場はライン川沿いにあり輸送の面においても良い立地条件にある。所内の敷地面積は広く、貨物車両16両（敷地総距離230キロ）で現在の工場原料のナフサや天然ガスを輸送している。スチームクランパーという水蒸気を利用した装置を使用してナフサや天然ガスを分

解し、科学製品を取り出す。また使用した水蒸気は工場内の発電所などでリサイクルしている。所内には約2000のプラントがある。35,000人の従業員が働いており、その内5,000人は研究者である。また敷地内には保育所が2013年に開設され、従業員の確保にも役立つ施設を作っている。また化学工場であるため180人も消防隊員がおり、敷地内どこでも3分以内で行ける様訓練を重ねている。



◎アグリカルチャーセンター

農業研究センター各研修施設を視察。1941年設立、当初は肥料の研究から始まり、現在は大気中の窒素合成技術研究の開発を行う。敷地面積40ha、約1,700人が農業研究部門として働いている。新薬開発には多額の費用と年数が必要であり1新薬に約28,600万ドル(約322億円)、年数は12~13年を要している。研究ラボでは年間6~7万種類の菌を作り、試験を行っている。薬剤効果を見る菌試験は一連してロボットで行い、菌の増減により効果を確認している。研究員はロボットのプログラムと試験結果の確認を行っている。農薬の環境への影響を確認するため、一般土壌から抜き取った土で植物を生育、そこへ農薬を散布し、植物の根、土壌層、土壌下部から排出された水、それぞれの残留農薬をマーカーで追跡し、農薬がどの時点で分解されたかを確認している。

◎フランクフルト近郊農家

300年前より営農開始、工作面積250haの大規模農家。耕作面積の内75%は借地、主作物は麦100~120ha、馬鈴薯85ha、ビート30haとその他デントコーン、アスパラ、果物等を栽培して

いる。ドイツでは農家も住宅地に住むことになっており、圃場周辺には住めない。圃場周辺に住むには条件がある。①家畜を飼う。②店舗経営をする。③2点の条件を満たすため、当農場は店舗経営を選択。レストラン、直売所、農業体験者のアパート経営を行っている。家族を含め19名で4つの会社を経営し、農場の作業は農場主親子、見習い3名の5名で行う。麦の生産は年間平均1,000t~1,200t、収量は1haあたり10t、地域でブランド化を図り製粉会社に販売する。昨年のビートは



1haあたり100t、糖分16%と大豊作であったが販売単価が下がりt当たり28ユーロとの事、こちらも播種、収穫は委託作業で管理作業のみが農場の仕事となって馬鈴薯の平均生産量は4,000t。その他3,500tを他の農家より仕入れ、約20品目の馬鈴薯を地元レストランへ販売、市街地へは定期配送、スーパーへ契約販売している。冬の時期を除き作業が途切れる事はないが、クリスマスシーズンにはツリーの製作販売も行っているとの事であった。

◎ファイフェル ランゲル製糖工場

工場敷地内をバスで視察後、工場の概要説明。シーズンにおけるトラックの重量計測は、日に500台サンプル採取し、80%は工場へ、直搬入残りはストックヤードに一時堆積、帰りの空のトラックには生パルプを積み込む。工場処理量は1日あたり12,000t処理。それ以上のものはストックヤードへ、こちらの貯蔵量は26,000tとなっている。ポーランドの砂糖製造量は1990年各工場あたり25,000tであったが、2015年には80,000t以上となった。生産農家は減少し、作付面積も減少しているが生産性の向上に

より生産量には変化が無いとの事。1995年は1工場であったが2001年には11工場となる。しかし、2014年に国の工場制度変更により現在は3工場となっている。工場の社員は150人程度で、工場稼働時には80人の期間労働員を雇い運営している。ビート農家は3,400戸、作付面積は約200,000ha、1戸あたりの作付は平均5haながら、播種・収穫作業については作業委託をしている。

◎ポーランド プウォンスク

組織概要、活動説明後に実験圃場を視察。当組織は農家支援を目的とし活動している。試験栽培調査による栽培技術情報発信、法律情報発信、経営アドバイス等の営農指導セミナー、イベント、機関紙発行による栽培指導EUからの基金要請等が主な活動内容である。ポーランドでは農業大臣の命により同様の機関が各県に設置されている。

当組織は1923年から試験圃場運営を行っている。圃場面積は20haで麦、大豆、飼料用菜種、デントコーン、ビート、馬鈴薯等について様々な試験を実施、試験結果は書類にまとめ公表し、各地区にあった品種提供をリスト化して

いる。

ビートの干ばつ、日焼けによる枯れに対する品種試験圃場を視察した。干ばつ、日焼けに弱い品種は葉が黄化し、部分的には円状に赤くなっていた。ポーランドは降水量が少なく干ばつによる生産性の影響が大きい重要になっている。

◎ロンドン NFUシュガー

NFUシュガーは、イギリス唯一の製糖会社であるブリテッシュシュガー社と販売価格、輸送方法等を交渉できる農家代表組織であり、ビート生産農家を守るための組織である。

イギリスのビートは東部地区で生産され、作付面積107,000haを3,500戸の農家が生産しており、生産量については800万tとなっている。直近10年で生産量が25%向上し、平均収量は1haあたり75tとなっている。

イギリスの砂糖消費量は200万t。これに対し国内生産は140万tであり、不足分はフランス、アメリカからの輸入で補っている。国民1人あたりの消費量は減少傾向にあるものの、人口増加により砂糖市場は好調とのことであった。今後のビート生産についても大きな可能性がある様

であった。また、他の作物に比べ収益性の高い作物と認識されている。

契約については単年もしくは3年より選択、日本同様に糖分別で単価変動するが、契約数量以上に出荷すると単価は下がる。製糖工場は4工場あり、700台のトラックをNFU社が管理。どの工場に輸送するかも同様に管理する。原料受け入れは9月より始まり、翌年の3月まで行う。貯蔵は圃場でも工場でも行わず、随時原料出荷となる。また、3月までの間は畑が凍結する事もビートが腐ることもないため出荷できている。前年度分を掘り取りしながら今年度のビートの植え付けを行っているとの事。(昨年度は3月28日まで受け入れ)輸送運賃について、60マイル(約97km)以内は製糖工場負担、原料の単価決定はサンプリングにより行っている。

今回の海外視察研修では3か国の農業状況や国の文化、歴史街並みに触れる事ができ、大変有意義な研修になりました。最後に、この様に貴重な機会を与えて頂きました当JAをはじめ、お世話になった各関係機関に感謝申し上げます。視察研修の報告とさせていただきます。

理事会の経過をお知らせ致します



第3回 4月4日

付議事項

- 議案第1号 再建組合員の承認について
- 議案第2号 共同計算基本要領の制定および職制規程の一部改正について
- 議案第3号 作物別、業務別係会議運営要領および営農集団活動推進要領の一部改正について
- 議案第4号 リース取引による固定資産の賃借について
- 議案第5号 平成31年度コンプライアンス・プログラムの制定について
- 議案第6号 第71回通常総会の対応について

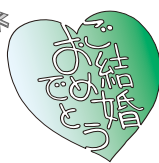
協議事項

1. 畑作・青果対策の確立に向けた平成32年度農業予算概算要求に関する組織討議について

第4回 4月10日

付議事項

- 議案第1号 第71回通常総会の集約について
- 議案第2号 理事の報酬配分について
- 議案第3号 職員の要員計画について
- 議案第4号 行政庁に提出する業務報告書について
- 議案第5号 理事に対する供給限度額並びに貸越極度額の決定について
- 議案第6号 固定資産の取得について



田中紳太郎さん(第7営農集団)
矢口映美奈さん(清里町)

宮崎 涼匡さん(農協職員)
弘内 楓さん(佐呂間町)

伊藤 湊刀さん(農協職員)
大西 彩乃さん(斜里町)

人事異動について

◎平成31年2月1日付で一部機構改革を実施。機構改革は金融部を新設し、金融部金融課と金融部共済課とする。でん粉製造部を廃止し、営農部に統合して営農部製造課とする。

人事異動発令

平成31年4月1日付をもって人事異動の発令がありました。◎は異動前の所属部門

- 森 朗
金融部長兼金融部共済課長
(管理部長兼金融部共済課長)
- 太田 智之
管理部長兼内部監査室長
(金融部金融課長)
- 梅佐古 一寿
金融部金融課長
(金融部金融課調査役)
- 杉山 裕紀
業務部燃料自動車課調査役
(業務部燃料自動車課主幹)
- 佐渡 淳一
管理部管理課調査役
(管理部管理課主幹)

○浅野 雅樹

営農部農畜産課主幹
(営農部農畜産課主査)

○谷澤 富夫

業務部燃料自動車課主幹
(業務部燃料自動車課主査)

○栗原 淳

営農部経営課主幹
(営農部経営課主査)

○戸出 浩輔

営農部経営課主幹
(営農部経営課主査)

○佐野 圭司

業務部燃料自動車課主査
(業務部燃料自動車課)

○田中 敏之

業務部燃料自動車課主査
(業務部燃料自動車課)

○辺見 匠

営農部農畜産課主査
(営農部農畜産課)

○丹野 翔太

金融部共済課
(内部監査室)

○木村 和也

管理部管理課
(営農部製造課)

○高野 龍馬

営農部製造課
(業務部業務課)

○佐山 尚子

金融部金融課
(営農部農畜産課)

○吉田 逸人

内部監査室
(金融部共済課)

○佐々木 昭弘

業務部燃料自動車課
(業務部燃料自動車課準職員)

○西館 祐太

業務部燃料自動車課
(業務部燃料自動車課準職員)

○丹野 未希

管理部管理課
(金融部金融課準職員)

○増子 彩香

営農部農畜産課
(業務部業務課準職員)

○城村 千恵子

営農部経営課準職員
(管理部管理課準職員)

■平成31年4月1日付で採用がありました。

○松館 正太

金融部金融課
(業務部業務課)

○田中 郁充

業務部業務課
(営農部農畜産課)

○渡部 志乃

業務部業務課

組合員状況

(令和元年5月1日現在)

■組合員数		(前回報告より)	
正組合員 (個人)	220名	(3名減)	
〃 (法人)	12法人	(変動なし)	
准組合員 (個人)	1,315名	(変動なし)	
〃 (法人)	0法人	(変動なし)	
〃 (団体)	20団体	(変動なし)	
(合計)	1,567		

★新規採用職員をご紹介します



○名 前 田中 郁充 (たなか いくみ)

○生年月日 平成9年3月11日

○出身地 網走市

○出身校 北翔大学

○趣味・特技 筋力トレーニング・運動

○配属先 業務部業務課

○抱負 分からないことは積極的に聞き、早く仕事を覚えるよう努力してまいります。また、

明るく元気に日々の業務に励み、

組合員さん、職員の方と名前を覚えていたと思います。よろしくお願ひ致します。



○名 前 松館 正太

○生年月日 平成8年8月14日

○出身地 斜里町

○出身校 北翔大学

○趣味・特技 バレーボール

○配属先 金融部金融課

○抱 負 1日でも早く業務に慣れ、組合員様や地域の皆様から信頼される職員となれるよう努力していきます。社会人として未熟な部分が多く、ご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、精一杯頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。



○名 前 山本 一斗

○生年月日 平成11年12月22日

○出身地 網走市

○出身校 J Aカレッジ

○趣味・特技 野球

○配属先 営農部農畜産課

○抱 負 ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、少しでも早く仕事を覚えられるよう、一生懸命に頑張ります。よろしくお願ひ致します。



○名 前 渡部 志乃

○生年月日 平成8年12月19日

○出身地 小清水町

○出身校 酪農学園大学

○趣味・特技 野生動物に会いに行くこと・撮影

○配属先 業務部業務課

○抱 負 皆様に多々ご迷惑をおかけしてしまうかと思いますが、精一杯励んで参ります。よろしくお願ひ致します。

退職にあたって



高野 佳 枝

初夏の候、組合員の皆様にはお忙しい毎日のことご推察申し上げます。

この度、3月31日付をもちまして清里町農業協同組合を退職致しました。

平成12年4月に入組し、管理部管理課に13年、営農部経営課に6年勤務させていただきました。

管理課では麦作の手伝いとしてスケールで仕事をさせてもらった時に、組合員さんの顔を覚えることができ、たくさん接することができました。そして、広報誌『組合だより』の担当となり、多くの組合員さんを取材させていただきました。

経営課に異動して女性部という



大きな組織の担当となり、当時、女性部部长1年目の成戸貴子さんと一緒に試行錯誤しながら行事をこなしていく1年目は大変でした。部長をはじめ、役員、部員の皆さんに助けていただきました。2年目以降も、毎年同じようにはいかず、役員さんと一緒に考えました。女性部は私にとつてとても大きな存在で、たくさん学ばせてもらえ、元気をもらえ、かけがえのないものです。役員さんも若くなつてきており、毎年全員が変わるので大変だと思いますが、皆さんで楽しく女性部活動を続けてほしいと願っています。農作業や学校行事、家事等で忙しいとは思いますが、楽しんで活動してください。現在妊娠しており、8月に出産予定ですが、元気な赤ちゃんが産めるように頑張りたいと思います。最後になりますが、組合員の皆様、役員の方々の末永いご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。退職の挨拶とさせていただきます。長い間、大変お世話になりました。



夏の 新車



TOYOTA PRIUS



SUZUKI X-BEE



TOYOTA HILUX



SUZUKI SX4 S-CROSS



TOYOTA RAV4



SUZUKI SPACIA



SUBARU FORESTER



MITSUBISHI OUTLANDER PHEV



SUBARU LEGACY B4



MITSUBISHI ECLIPSE CROSS



SUBARU OUTBACK



MITSUBISHI DELICA D:5

発行/清里町農業協同組合
北海道斜里郡清里町羽衣町2番地
TEL 0152-52-1111 FAX 0152-52-1100

銘柄はトヨタ・スズキ・スバル・三菱が対象!
4メーカー「新車全車種対象」特別企画
業務用車輛は、対象外となります。ご了承ください。

2019.6.1→8.31ご契約分まで

乗用車を新車でご成約でもれなく、いずれかおひとつプレゼント!

軽トラックを新車でご成約の方は

A present ホクレン

ホクレンSSポイントカード
ホクレンSSポイント
30,000pt進呈!
給油所でいる買える!

対象はポイント以外、ポイント1円として店頭燃料油や給油所取扱商品のご購入にご利用いただけます。
●一部ご利用いただけない店舗及び商品もございます。
●写真はイメージです。商品は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

B present RYZETECH

トイドローン
Tello Boost コンボ
スマートフォンで簡単に操作できるトイドローン。写真や動画を撮影可能。
●実際に使用の際には各種法令や施設所有者等へ事前にご確認ください。

C present FUJIFILM

ラフティング用カメラ
FinePix XP140
防水+防塵+耐衝撃
手のひらサイズのコンパクトボディ。主要被写体認識や4K動画撮影可能

D present Nintendo

Nintendo Switchのロゴ/Nintendo Switchは任天堂の商標です。
Nintendo Switch
Joy-Con (L)ネオンブルー/(R)ネオンレッド

ホイール付き
**スタッドレス
タイヤ4本
プレゼント!**

最新ガジェットと新車と共に北海道の夏をマンキツしよう!

JA共済オリジナル
お得な自賠責共済セット割引



★ご自身とご家族の保障
★相手方への保障
★お車の保障
JA共済

JAマイカーローンキャンペーン

2019.2.1~9.30までに50万円以上、6か月以上のマイカーローンをお借入れされた方にJAバンク北海道オリジナル「ドライブガイド」をプレゼント! ◎詳しくは店頭窓口、またはホームページをご覧ください。

JAバンク北海道
http://www.jabank-hokkaido.or.jp

お車のことはJAグループにおまかせください!



編集/組合たより編集委員会
印刷/星印刷工業株式会社